

血液がん・免疫・数理融合研究 シンポジウム

日時

2024年11月16日(土) 10:00~19:00

会場

東京理科大学 神楽坂校舎1号館
17階 記念講堂

タイムスケジュール

9:30 受付開始

10:00-10:05 開会の挨拶

東京理科大学・生命医科学研究所 伊川 友活

10:05-10:10 常務理事挨拶

東京理科大学 常務理事 / 薬学部生命創薬科学科 樋上 賀一

セッション1：がんゲノムと耐性克服：産学連携による研究開発アプローチ

座長 南 陽介

10:10-10:40 「シングルセルトランスクリプトーム解析
による骨髄性造血器腫瘍の病態解明」国立がん研究センター中央病院
臨床検査科 松井 啓隆10:45-11:15 「骨髄性腫瘍を標的とした新規スプライシング
モジュレーター CTX-712 の開発」

Chordia Therapeutics 株式会社 森下 大輔

11:20-11:50 「血液がんゲノムおよび耐性残存と克服戦略」

国立がん研究センター東病院
血液腫瘍科 南 陽介

11:50-13:00 休憩

セッション2：疾患数理モデル研究

座長 波江野 洋

13:00-13:30 「オミクスデータからの免疫細胞の同定とモデル化：
データ処理技術の開発と数理モデルとの融合」

産業技術総合研究所 熊谷 雄太郎

13:30-13:45 「数理モデルを用いた
ベネトクラクス併用療法の予後予測」

大阪大学 上田 智朗

13:45-14:10 「造血幹細胞の多様性変化シミュレーション」

東京理科大学 佐伯 晃一

14:10-14:40 「放射線被ばく関連がんリスクの数理モデル研究」

量子科学技術研究開発機構 今岡 達彦

14:40-15:10 休憩（コーヒープレイク）

セッション3：血液がん・免疫基礎研究

座長 伊川 友活

15:10-15:40 「Enterococcus faecalis 特異的ファージ由来
酵素を用いた急性 GVHD の治療法の開発」

大阪公立大学 植松 智

15:45-16:15 「急性骨髄性白血病モデルを用いたエピゲノム
制御酵素の新たな機能の発見と創薬研究」

千葉大学 星居 孝之

16:20-16:50 「自然リンパ球による肺疾患の病態解明と
新規治療戦略の展望」

東京理科大学 本村 泰隆

16:50-17:00 閉会の挨拶

東京理科大学生命医科学研究所 所長 落合 淳志

17:00-19:00 情報交換会（1号館17階 大会議室）

参加費無料

（情報交換会は別途）

**参加登録
はこちら**

10/30 締切

参加フォーム <https://forms.gle/rSinVTSDTX4Qptvc6>

シンポジウム事務局

東京理科大学 生命医科学研究所 伊川研究室 電話 04-7121-4052